

令和2年度事業報告

内閣府によると、令和2年は新型コロナウイルス感染症の世界的流行（パンデミック）によって、日本の経済も急激かつ大幅な景気後退を経験するに至っており、日本経済が令和元年10月の落ち込みから持ち直していた過程を直撃しました。

新型コロナウイルス感染症は、令和2年度の市工連事業にも様々な影響を及ぼしましたが、感染防止対策をとりながら手法を検討し、事業を実施する方向で努力してまいりました。

年2回の商談会や工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2021」は、大勢の人が集まり対面するために、オンラインの開催となりましたが、初めての試みで工夫をしながら販路拡大支援に取り組みました。

高校生の採用支援を目的とした就職懇談会は感染防止対策をとりながら開催するとともに、就職サポートセンターのインターシップ事業へ協力するなど、人材確保支援に取り組みました。

令和2年度で34回目となる帆船日本丸での「新入社員合同研修」は、帆船日本丸の休館により中止しましたが、新入社員フォローアップ研修を実施し、人材育成に取り組むことができました。また、製造業への理解を深めてもらうための出前講座と工場見学は、バスを提供することで一体的に実施できました。

会員企業同士のネットワークの拡大を図り、新たな活力を生み出す会員交流事業として、施設見学会は開催できましたが、各委員会もオンライン開催や書面開催となったため懇親会は開催することができず、新年賀詞交歓会についてもやむなく中止としました。

施設管理の面では、産貿ホール及び市工連事務室において、すべての排煙装置の取替調整工事を、また、荷捌場の天井が一部落下したため補修工事を、横浜市と神奈川県との支援によって行いました。一方、鳥浜T3では、2階ギャラリーのPタイル撤去に伴うアスベスト除去工事を横浜市の支援により行いました。

I ものづくり活性化事業

1 販路拡大事業

例年2回開催している商談会は、オンラインでの受発注商談会として、取引先の新規開拓のきっかけづくりや新たなビジネスチャンスの創出を目的に実施しました。

(1) 商談会等の開催

ア オンライン受発注商談会2020（重点エリア：川崎）

日時 令和2年9月24日（木）～10月7日（水）

主催 (公財)神奈川産業振興センター、(公財)川崎市産業振興財団、川崎市、川崎商工会議所、川崎信用金庫、(一社)横浜市工業会連合会、横浜市

参加社数 119社（前年度：277社）

発注：24社うち横浜市内企業5社（前年度：59社／20社）

受注：95社うち横浜市内企業22社（前年度：218社／58社）

商談件数 136件（前年度：913件）

内容 従来と異なり、オンライン会議ツール等の活用による非対面で開催。また、「オンライン会議ツールの仕組み」、「オンライン商談会の提案事前準備」、「受注につなげる商談の営業手法のポイント」についてのセミナーをオンラインで開催しました。

イ オンライン受・発注商談会 2021(重点エリア：横浜)
日 時 令和3年2月15日(月)～2月26日(金)
主 催 神奈川県、(公財)神奈川産業振興センター、横浜市、(一社)横浜市工業会
連合会、川崎市、(公財)川崎市産業振興財団、横浜信用金庫
参加者数 278社(昨年：394社)
発注：62社うち横浜市内企業20社(昨年：120社/14社)
受注：216社うち横浜市内企業50社(昨年：274社/41社)
商談件数 612件(昨年：922件)
内 容 テクニカルショウヨコハマ2021と同時開催

(2) オンライン見本市「テクニカルショウヨコハマ2021」(第42回工業技術見本市)

42回目の開催となる「テクニカルショウヨコハマ2021」は、新型コロナウイルスの感染拡大の状況が見通せない中、オンラインで開催しました。

ア 開催概要

(ア) 開催期間 令和3年2月15日(月)～2月26日(金)
(イ) 会 場 「テクニカルショウヨコハマ2021」公式ホームページ
(ウ) 出展規模 592社・団体、577ページ(前年度：830社・団体)
(エ) ページビュー数 569,078ページ
(オ) 閲覧者数 55,162名

イ 横浜ものづくりゾーンの開設

横浜市や各区が実施する中小製造業振興のための様々な施策の紹介や、その施策を活用した企業の技術を周知することを目的に、テクニカルショウヨコハマ2021公式ホームページ上に「横浜ものづくりゾーン」のコーナーを設け、団体として出展しました。

出展企業 50社・団体(前年度：93社・団体)

(個別応募企業：23社、メイドインつづき：24社、横浜市補助金交付企業他1社、行政：2団体)

(3) 受発注相談(電話・FAX・Eメール等による受発注相談)

相談件数：2件

(4) 横浜ネットワークプラス(受発注情報システム)の運営

横浜ネットワークプラス(受注・発注マッチングサイト)で、受けた案件を横浜ネットワークプラスに登録・公開するとともに、受注情報や企業検索ができるシステムを運営しています。令和2年度は登録企業の情報を更新しました。

2 ものづくり人材育成支援事業

(1) 新入社員合同研修

令和2年4月16日～17日にかけて1泊2日で開催する予定だった「新入社員合同研修」は、13社54名の申込みがありました。しかしながら、新型コロナウイルス対策のための緊急事態宣言が4月7日に神奈川県にも発出されたため、帆船日本丸が休館となったことから、開催を中止しました。

(2) 新入社員フォローアップ研修会の開催

入社後を振り返り、自分の強みや課題を客観的に認識し前向きなマインドを構築するとともに、他社の同年代の人たちと交流することを目的に、新入社員フォローアップ研修会を開催しました。

ア 日 時 令和3年2月19日(金)9:00～17:00

イ 会 場 産貿ホールマリネリア

- ウ 参加者 2社3名(全員女性)
- エ 講師 株式会社パワー・アイ 佐々木 富美子氏
- オ 内容 ①入社後の自身の振り返り(自分の仕事の進め方の再認識)
②入社後の職場の振り返り(仕事の問題点の克服と共有)
③クレーム対応の実践(ビジネスマナーに基づく話し方の再認識)
④ハイポイントインタビュー(自身の強み、課題を客観的に認識)
⑤「信念の言葉化」「自分なりの良い仕事」の意味づけを明確化

(3) 就職に関する懇談会の開催

神奈川県内の高校生等の地元中小企業への就職を促進するため、県立高校等関係者と企業との就職に関する懇談会を横浜市と共催して開催しました。

当初、6月9日(火)に開催予定でしたが、5月25日の緊急事態宣言解除後まもなくの開催だったので、感染防止対策準備のために1週間延期するとともに、当日は消毒液、サーモカメラ、フェイスシールドなどの使用、面談ブースの間隔も広くとるなど感染対策を講じ開催しました。

ア 日時 令和2年6月16日(火) 14:00~16:40

イ 会場 横浜産貿ホール1F マリネリア

ウ 参加者 神奈川県立磯子工業高校等 14校21名(前年度:17校26名)
会員企業等 38社38名(前年度:57社 84名)

エ 成果についてのアンケート

実施日 令和2年1月

39社にFAX送付

結果 回答24社、事後接触あり26件、うち採用内定予定あり13件、
(前年度:事後接触あり73件、うち採用予定あり23件)

(4) ものづくりの魅力を伝える事業

ア 出前講座の開催

神奈川県内の高校生や職業技術校の訓練生に対し、ものづくり産業・中小製造業の果たしている役割や、中小企業が求める人材などについて話す講座を開催しました。

[第1回]

(ア) 実施校:神奈川県立翠嵐高等学校(定時制)

(イ) 開催日:令和2年11月19日(木)14:10~16:00

(ウ) 参加者:51名(1年生35名、教諭8名、通訳4名、横浜市1名、事務局3名)

(エ) 会場:日本貿易印刷株式会社 会議室

(オ) 講師:日本貿易印刷株式会社 代表取締役社長 伊藤 知之氏

イ 工場見学の開催

市工連でバスを提供し、出前講座と一体で開催しました。

[第1回]

(ア) 開催日:令和2年11月19日(木)14:10~16:00

(イ) 見学先:日本貿易印刷株式会社 (横浜市戸塚区上矢部町1968)
・印刷及びカードの発行業務

(ウ) 参加校:同上

(エ) 参加者:同上

※横浜市金沢団地協同組合事務局の協力のもと、令和3年1月15日に開催する予定だった、三和化成工業株式会社と富士川建材工業株式会社による、神奈川県立横須賀南高等学校に出向いての出前講座と、その後の工場見学は、緊急事態宣言が発出されたこと

から、学校側からの申し出により中止となりました。

ウ ものづくり企業紹介フェアの開催

(経営者の講演とテクニカルショウヨコハマの見学会)

工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ 2021」の開催に合わせ、実施していた企業紹介フェアは、テクニカルショウヨコハマ 2021 がオンライン開催になったことから中止となりました。

(5) 技術者育成支援事業

中小製造業者がその従業員に、技術水準の向上、技能・技術の承継を推進し、中小製造業者における人材確保及び人材育成に資することを目的として、業務上必要な技能検定資格取得のための受検料を、補助金として交付しました。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い前期の技能検定試験が中止となり、申請件数が大幅に減少しました。

補助金交付企業 2 社

(6) 横浜市就職サポートセンター事業への協力

横浜市経済局雇用労働課が実施する「横浜市就職サポートセンター事業」に協力し、インターンシップ受入れを会員企業に呼びかけ、若年層等の雇用に結びつけました。

ア 求人企業数 89 社うち市工連会員企業 23 社

イ 採用決定人数 63 名うち市工連会員企業 2 名

(前年度採用実績：5 名)

II 産業振興施設の管理運営

1 横浜産貿ホールの管理・運営事業

産貿ホール大ホールで換気のために排煙窓の開閉をしたところ不具合が生じたため、ホール及び市工連事務室において、すべての排煙装置の取替調整工事を、また、荷捌場の天井が一部落下したため補修工事を、横浜市と神奈川県との支援によって行いました。

新型コロナウイルス関係では、感染症対策のための緊急事態宣言発出で、4 月 22 日～5 月 31 日まで神奈川県との休業要請に協力しましたが、キャンセルも相次ぎ苦しい運営状況でした。緊急事態宣言中のキャンセルについては、振替等で対応するなど利用者サービスに努めました。

新型コロナウイルス関係の助成金では、休業に対する神奈川県「新型コロナウイルス感染拡大防止協力金」、国の「持続化給付金」や「家賃補助給付金」、横浜観光コンベンションビューローの「緊急支援助成金」の支援を受けました。

2 試作用賃貸スペース（鳥浜トライ&トライアルステージ）事業

2 階ギャラリーの P タイルを撤去するにあたってアスベスト含有が判明したため、撤去・除去工事を横浜市の支援により行いました。

新型コロナウイルス関係では、入居者の業績に大きな影響があり賃料の減額についての申入れがあったことから、入居者の賃料について契約満了時まで 10%の減額を実施しました。また、市工連の財政状況が厳しいことから、横浜市からの借入金の返済は 2 回分を猶予していただきました。

III 市工連及び地域工業会等の活性化

市工連の 5 つの委員会で各種事業を検討・実施するとともに、市工連を構成する 11 の地域工業会・事業会からの予算要望を取りまとめて横浜市長に提出しました。

また、地域工業会・事業会及び横浜青年経営者会に対し、活動助成を行うとともに、各種

媒体での情報発信やすぐれたアイデア提案者の顕彰など、会員支援に努めました。

また、「災害共済」、「労災保険」等会員企業や従事者を対象とした各種福利厚生事業を行い、さらに、本会独自のPL保険の加入促進を図りました。

1 委員会の活動（総務、政策、事業・企画、広報・産学、雇用・環境の5委員会）

地域工業会代表が意見交換をおこない、課題解決に反映されるよう各委員会を開催しました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面やオンラインによる会も開催しました。

5委員会の開催延べ回数：9回（うち5回は書面、2回はオンラインとのハイブリッド）
（委員会開催実績等は6～8ページのとおり）

2 基盤整備事業（産業振興に関する課題の掌握、提言、対応策の実施）

（1）横浜市と当連合会との施策検討会の運営

横浜市の中企業振興策の立案・実施に向け、具体的かつ実効性の高い施策検討・協議する施策検討会をオンラインで開催しました。

（2）産業振興に関する提言、調査、研究

行政機関等の産業振興施策に反映されるよう、施策検討会を活用し、地域工業会・事業会からの振興施策、企業経営及び立地環境の改善等に関する意見・要望を集約し、「令和3年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書」としてまとめ、横浜市長に提出しました。

ア 提出日 令和2年10月28日（水）

イ 場所 横浜市庁舎

ウ 出席者 横浜市長、副市長、経済局長、市工連会長、各地域工業会会長ほか

エ 要望書概要

（ア）重点要望事項 5項目 20件

（イ）一般要望事項 5項目 31件

（ウ）項目 ①新型コロナウイルス関連

②操業環境の改善

③販路拡大

④人材確保、育成

⑤ものづくりの活性化に対する支援

3 地域工業会・事業会の活動支援

前年度と同様に11の地域工業会・事業会に対し、広報活動助成と活動支援助成（特例分）として、11万円の助成を行いました。

4 横浜青年経営者会の活動支援

横浜青年経営者会への助成金として20万円を交付しました。

5 情報発信事業

（1）インターネットを活用した情報提供

ア ホームページの運営

イ メールマガジン「市工連ニュース」の配信

23回配信（令和2年4月1日第445号～令和3年3月15日第467号）

配信先 工業会会員等約1,900件

（2）機関誌等の発行

ア 機関誌「よこはま市工連」の発行

- 年間2回発行
 令和2年7月(第82号)2,000部 / 令和3年1月(第83号)2,200部
 イ 広報紙「市工連かわらばん」の発行
 年間6回発行 各回2,000部配布
 令和2年5月(第182号)から令和3年3月(第187号)まで奇数月発行

- (3) 一斉ファックス及びメールマガジンでの情報発信
 全会員へのお知らせや周知のために、一斉FAXやメールマガジンのツールを利用し、情報の発信に努めました。

5 すぐれたアイデア提案者表彰

各企業において、技術開発、生産性の向上、経費節減等で「すぐれたアイデア」を提案し、企業の発展に貢献した従業員を表彰しました。

例年、賀詞交歓会において表彰式を開催していましたが、賀詞交歓会の中止に伴い表彰式も中止となりました。

被表彰者 4社 5名 (8ページ「別表」のとおり)

6 会員企業の交流

(1) 横浜港施設見学会

ア 日時 令和2年11月12日(木)

イ 会場 本牧ふ頭・横浜港シンボルタワー及び大黒ふ頭・横浜港流通センター

ウ 参加者 市工連役員・委員等 18名(市工連事務局3名含む)

エ 内容 「横浜港シンボルタワー」から本牧ふ頭の見学をするとともに、わが国最大級の総合物流施設「横浜港流通センター(Y-CC)」を見学

(2) 委員会終了後の懇親会開催について

地域工業会の枠を超えて委員会委員の交流を図るため、委員会終了後懇親会を予定しておりましたが、委員会が書面やオンライン開催となったため懇親会は開催しませんでした。

IV 法人運営

総会、理事会、委員会等の開催など、団体運営に努めました。

1 総会、理事会、委員会等

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
4月23日 (木)	第1回 政策委員会	・令和2年度横浜市に対する予算要望の回答について ・令和3年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書の策定について	書面開催
4月27日 (月)	第1回 広報・産学 委員会	・「よこはま市工連(第82号)」について ・広報関係の実績について	書面開催
6月4日 (木)	第1回 総務委員会	・令和2年度第1回理事会・定時総会の議案について ・令和2年度第2回理事会の議案について	横浜産貿 ホール 小展示室

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
6月25日 (木)	第1回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告について ・令和元年度決算報告について ・理事・監事の選任について ・令和2年度予算の補正について 	ローズ ホテル横浜
6月25日 (木)	定時総会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告について ・令和元年度決算報告について ・理事・監事の選任について ・令和2年度予算の補正について 	ローズ ホテル横浜
6月25日 (木)	第2回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・会長・副会長の選定について ・令和2年度委員会の委員について 	ローズ ホテル横浜
7月22日 ～ 8月25日	施策検討会	地域工業会委員16人、政策委員6人、 横浜市課長職以下5人、IDEC2人	オンライン 会議
9月17日 (木)	第2回 政策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度施策検討会の報告について ・令和3年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書について ・その他 	横浜産貿 ホール 小展示室 (オンラインとのハ ybrid)
9月24日 (木)	第2回 総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度第3回理事会・臨時総会について ・令和3年市工連賀詞交歓会開催について 	横浜産貿 ホール 小展示室 (オンラインとのハ ybrid)
10月27日 (火)	第2回 広報・産学 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「よこはま市工連(第83号)」について ・広報関係の実績について ・その他 	横浜産貿 ホール 小展示室
10月28日 (水)	第3回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度10月補正予算 ・その他 	横浜市庁舎 3階議会棟 多目的ホール
10月28日 (水)	臨時総会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度10月補正予算 ・その他 	横浜市庁舎 3階議会棟 多目的ホール
2月26日 (金)	第1回 事業・企画 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業について ・その他事業について ・令和3年度市工連事業概要について 	書面開催
2月26日 (金)	第1回 雇用・環境 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業について ・外国人材の活用について ・令和3年度市工連事業の概要について 	書面開催
3月11日 (木)	第3回 総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業計画(案)について ・令和3年度予算(案)について ・総会・理事会規程の改正について 	書面開催

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
3月24日 (水)	第4回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業計画(案)について ・令和3年度予算(案)について ・総会・理事会規程の改正について ・その他 	横浜産貿 ホール マリネリア
3月24日 (水)	定時総会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業計画(案)について ・令和3年度予算(案)について ・総会・理事会規程の改正について ・その他 	横浜産貿 ホール マリネリア

2 新年賀詞交歓会

新型コロナウイルス予防対策を取り、令和3年1月7日(木)に、市工連の役員・委員及び来賓の皆さままで規模を縮小して開催する予定でしたが、同日に緊急事態宣言が発出されることが事前にわかったため、中止としました。

なお、直前の中止でキャンセルできなかった持帰り用の菓子は、公益財団法人フードバンクかながわに寄贈しました。

3 地域工業会・事業会 事務局長会議

7月21日、10月20日、11月17日の3回は会議を開催しました。また、4月21日、5月19日、6月16日、9月15日、12月15日、2月16日、3月16日の7回は書面での開催となりましたが、メール等で情報伝達等を行い、市工連と地域工業会との情報交換・連携を図りました。

別 表

第37回すぐれたアイディア提案者表彰 被表彰者一覧

(50音順・敬称略)
(4社5名)

No.	企業名	氏名	所属等	アイディアの名称
1	海洋電子工業 株式会社	小倉 和明	整備部整備2課	感度校正試験の効率化
2	海洋電子工業 株式会社	平 誉大	技術部設計2課	振動分析作業の効率化
3	株式会社グーン	安廣 真吾	シニア マネージャー	油圧ショベルのバケットシリン ダー倒立による油漏れトラブル 防止
4	竹澤工業株式会社	山田 誉勝	製造・工務 グループ長	高圧ヘッダー長手溶接の対策と 改善の提案
5	株式会社吉岡精工	高畑 勝	生産部	測定値のデータ送受信による検 査作業工数削減